

中野市が「愛される都市」となるための課題と研究

～とってもいいね👍中野市～

2020年3月

道路河川課	芳澤	敏明
生涯学習課	綿貫	壺真
営業推進課	久保英梨香	
政策情報課	有賀	裕介

中野市
政策研究所

Nakano City Policy Institute



目次

第1章	はじめに.....	1
第1節	研究の概要.....	1
(1)	研究の背景と目的.....	1
第2節	研究の方法.....	1
(1)	アンケート調査.....	1
(2)	ワークショップ.....	1
(3)	実地調査.....	2
第2章	中野市の現状把握.....	3
第1節	中野市の社会動態.....	3
第2節	中野市に対する愛着について.....	3
第3章	10代の若者が暮らしを豊かにするために重視するもの.....	5
第1節	全国的な傾向.....	5
第2節	全国的な傾向を踏まえたアクションプランの検討.....	6
第4章	高校生が感じる中野市のイメージ.....	7
第1節	中野市に対するイメージの把握.....	7
(1)	アンケートの実施先について.....	7
(2)	アンケート内容について.....	7
(3)	愛着と地元に戻りたい気持ちの関連性.....	8
(4)	アンケートの結果から見えること.....	10
第5章	若者の中野市に対する愛着促進に向けて.....	12
第1節	中野西高校の生徒との取り組み.....	12
(1)	ワークショップの実施.....	12
(2)	モデルコースの紹介.....	13
(3)	ワークショップの成果.....	14
第2節	先進自治体の取り組み 福井県鯖江市～鯖江市役所JK課～.....	15
第6章	おわりに.....	17
第1節	若者が地域に愛着を持つための具体的事業提案.....	17
(1)	高校生による観光パンフレットの制作.....	17
(2)	フリースペースの有効活用 ～保健センターのフリースペースを高校生 の居場所に～.....	18
(3)	おまけ～市外からの通学者を将来の市民にしよう～.....	19
第2節	まとめ.....	21
【資料】	22
高校生の中野市に対する意識アンケート調査.....		23

① アンケート調査表	2 3
②アンケートの集計結果	2 4
ワークショップアンケート調査	3 0
①アンケート調査表	3 0
②アンケートの集計結果	3 1

第1章 はじめに

第1節 研究の概要

(1) 研究の背景と目的

現在、全国各地、特に都市部から離れた地方都市では、人口減少が著しく進行しており、中野市もその例に漏れず、喫緊の課題となっている。

その要因としては、出生率の低下等による自然減のほかに、進学・就職を機に若者を中心に市外へ流出してしまう「社会減」が想定を上回っていることが大きく影響していると考えられる。

2015年に作成した「人口ビジョン」では、中野市の人口は2000年をピークに減少傾向にあり、少子高齢化による人口減少が進んでおり、人口減少のペースを緩やかにすることを目的として、様々な施策が展開されている。

しかし、「人口ビジョン」で示した2019年時点の目標人口と実際の人口を比較すると、目標人口よりも実際の人口の方が366人も少なくなっており、今後も「人口ビジョン」で掲げた目標人口よりも早いペースで人口減少が進むと懸念される。

このことから、私たちのチームでは、人口減少に歯止めをかける必要性を感じ、人口減少の原因となる世代に特徴があるのかを調べることにした。

第2節 研究の方法

(1) アンケート調査

現在の状況を把握するため、中野西高校の生徒を対象にアンケート調査¹を行った。調査結果については研究員で集計作業を行い、結果を中野西高校へ提供した。

(2) ワークショップ

高校生と研究員が、それぞれアンケート結果から読み取った現状について検討を進め、高校生が愛着を高めるためのアプローチを行った。また、ワークショップに参加した生徒に対するアンケート調査²によって「中野市に対する気持ちの変化」があったかを調べた。併せて、高校生が必要としているものを導き出し、高校生がより愛着を高めることができるプランの検討を行った。

¹ アンケート調査の対象人数：全学年合計640人。(回答数549人、回答率85.7%)

² モデルコースを考えたことで、「中野市に対する気持ち」に変化があったかを調査。対象15人
(市内の生徒4人、市外の生徒11人)

(3) 実地調査

ワークショップを経て検討した研究員の提案を、中野西高校及び中野立志館高校の協力を得て実施し、現役高校生及びこれから高校生になる若者たちの中野市に対する愛着が高まるか実際の活動を通じて検証を行う予定。

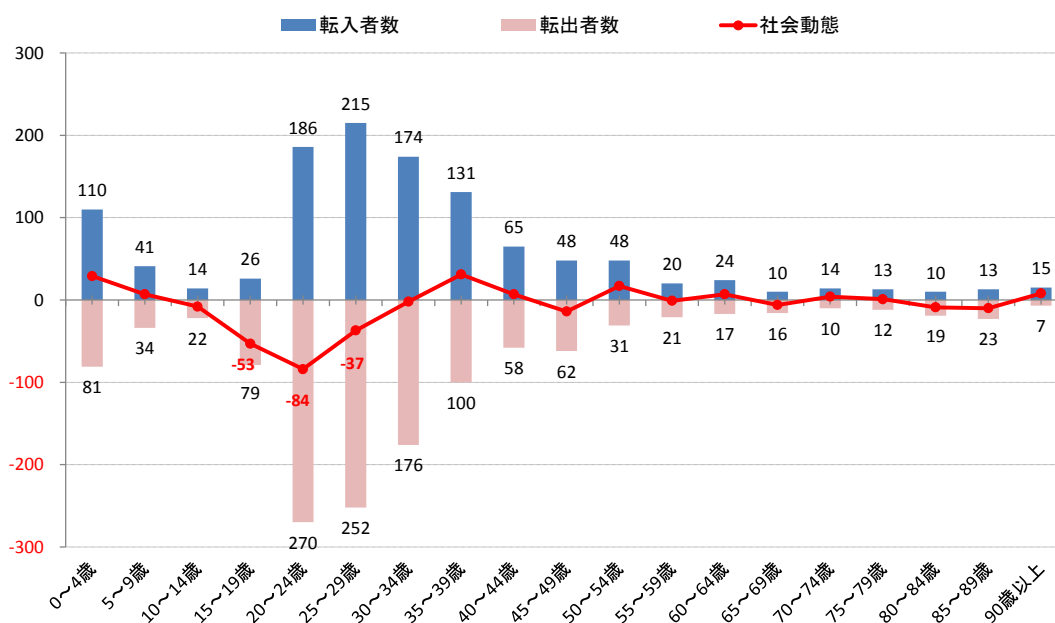
第2章 中野市の現状把握

第1節 中野市の社会動態

人口の増減は、出生・死亡に伴う人口の動きである自然動態と、転出・転入等に伴う人口の動きである社会動態で決められており、本市では進学・就職を契機とした若者の転出が多く、これに伴う人口の社会減によって将来の出生率の低下を招き、少子高齢化に拍車をかけ、人口の自然減にも影響を与えていると考えられる。

「2018年の中野市における5歳階級別の社会動態」（図表2-1）を見ると、実際に人口減少が著しい年代は10代後半から20代の若者であり、これは前述した高校卒業後の進路による転出が主な要因だと考えられる。

図表 2-1 「2018年中野市における5歳階級別の社会動態」

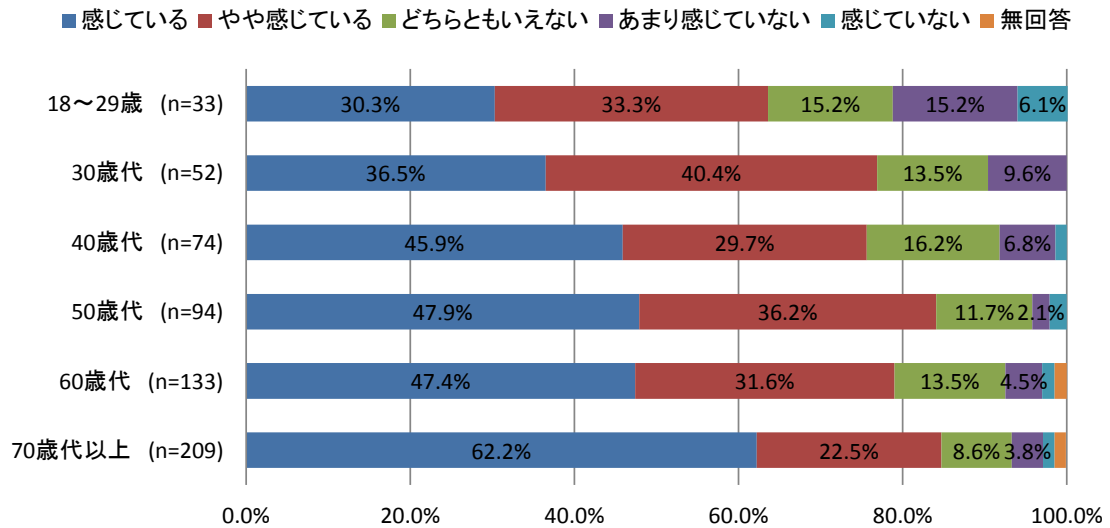


資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」を基に作成

第2節 中野市に対する愛着について

本市における10代後半から20代の若者の特徴を調べると、「市民満足度調査」（図表2-2）の結果から、本市に対する「愛着」が他の年代よりも低い傾向が見られることが分かった。

図表 2-2 「中野市への愛着について」



資料：中野市（2018年）「平成30年度 中野市民満足度調査」を基に作成

以上から、進学による転出を抑制することはできないが、他の要因による転出者を抑制するには、若者が本市に対して愛着を持つことが重要ではないかと考えた。

また、彼らが「中野市に住みたい」「中野市に戻りたい」と思う事が、進学により転出した学生が将来、就職活動などで市内または近隣市町村の企業を選んだり、市内からの通勤を検討したりすることで、本市へのUターン等に伴う人口の増加に繋がるのではないかと考えた。

本研究では、若者の転出が多い状況の一つとして、「本市に対する愛着が低いため、転出率が高くなり人口減少が進む」と仮定し、進学等により転出を考える前の高校生世代に対して、より本市に愛着を持つためのアクションプランを検討し、「中野市に将来住みたい」と思える「愛してやまない都市」となるための研究を進めることとした。

第3章 10代の若者が暮らしを豊かにするために重視するもの

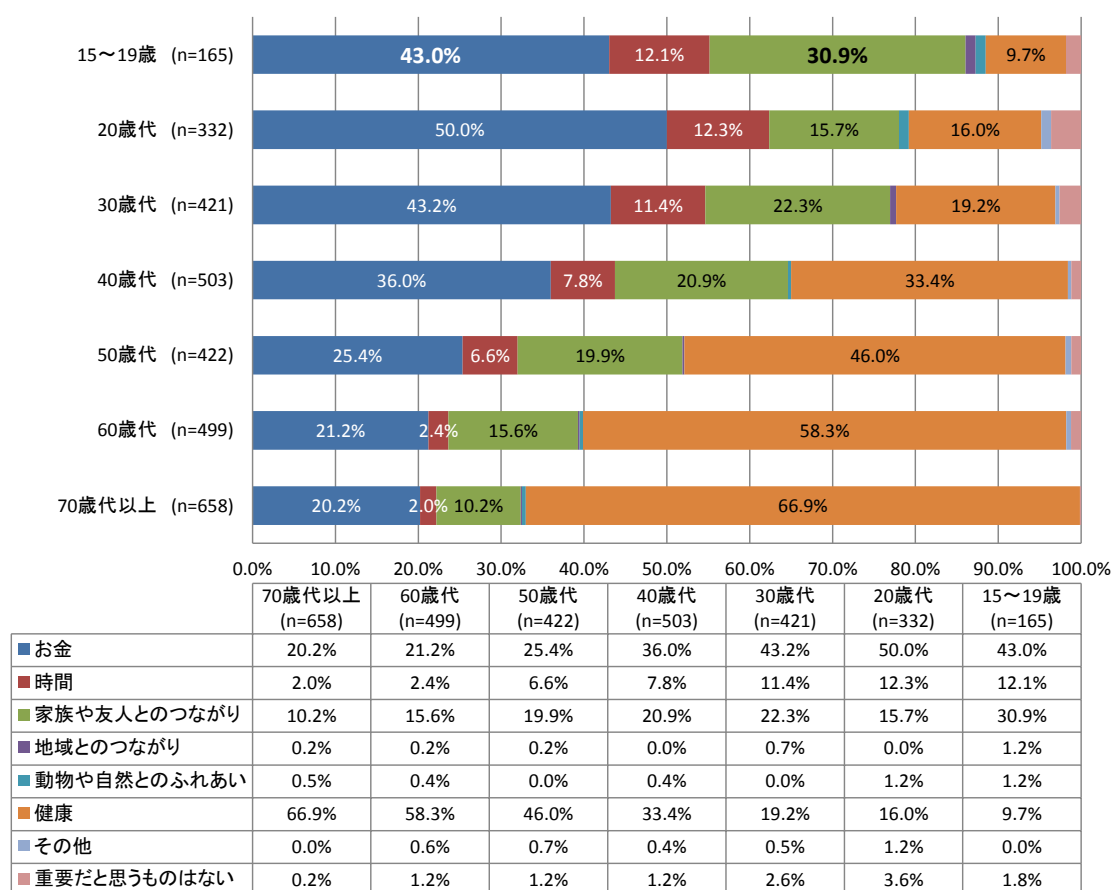
第1節 全国的な傾向

10代後半の若者が、暮らしを豊かにするために最も重要だと考えているものについて、各種データから考察した。

2016年度に消費者庁が行った「消費生活に関する意識調査」(図表3-1)によると、若者ほど「お金」を重要視しているのに対し、40代以上の年代からは「健康」が重要視されていることが分かる。

また、15歳から19歳では「家族や友人とのつながり」や「地域とのつながり」を重要視する割合が他の年代に比べて高いことが分かった。

図表 3-1 「2016年度消費生活に関する意識調査(消費者庁)」



資料：消費者庁(2017年)「平成28年度消費生活に関する意識調査結果報告-SNSの利用、暮らしの豊かさ、シェアリングエコノミー当に関する調査-」を基に作成

第2節 全国的な傾向を踏まえたアクションプランの検討

図表3-1の分析から、次の2つを重視してアクションプランの検討を行った。

まず、年代ごとに重要視するものに違いがあり、実際に高校生が愛着を高めるための検討を行うには、彼らの考えを考慮しなければ適切なアクションプランにならない可能性があると考えた。

次に、若者が「家族や友人とのつながり」や「地域とのつながり」を重要視していることが確認できたことで、彼らと地域がつながることにより彼らの愛着が高まる可能性があると考えた。

以上のことから、若者と共にアクションプランを検討し、彼らが重要視するものや取り組みたいことを引き出し、若者が求めているアクションプランを提案し、彼らと共に検討したプランによって「地域とのつながり」をもつ機会を得ることで、彼らの愛着が高まると仮定した。

第4章 高校生が感じる中野市のイメージ

第1節 中野市に対するイメージの把握

年代ごとに重要視する内容には違いがあることから、ターゲットとする高校生の声を直に聴くことが大切と考え、以下の方法でアンケート調査を実施した。

(1) アンケートの実施先について

実施校：中野西高等学校

回答者：549人（内住所不明4人）

（内訳：人）

※記載は居住地が分かる者に限る

	市内在住者	市外在住者	合計
1年生	75	109	184
2年生	85	81	166
3年生	101	94	195
計	261	284	545

(2) アンケート内容について

アンケートについては、以下のとおり6択制による15の質問のほか、3つの自由回答による質問を行った。

	質問内容（Q1～15までは6択制、Q16～18は自由回答とした）
Q1	中野市のことをどう思いますか。
Q2	中野市の街並みや自然は、綺麗だと思いますか。
Q3	大きな山や建造物など、地域の人が皆知っている中野市のシンボルがあると思いますか。 …思う or 思いつく場合、シンボルの名称についてもお書きください。
Q4	中野市の医療施設は、充実していると思いますか
Q5	中野市の治安は良いと思いますか
Q6	中野市の名産物は、他の地域の人に勧められると思いますか …名産物の名称についてもお書きください。
Q7	毎年、住んでいる地区で行われるお祭りを楽しみにしていますか
Q8	毎年、中野市で行われるイベントを楽しみにしていますか …イベントの名称についてもお答えください。
Q9	日頃、中野市の人（同じ高校の友達以外）と交流を持つことが多いと思

	いますか
Q10	中野市の方は親切だと思いますか
Q11	住んでいる地域は、自分にとって住みよい場所であると感じますか
Q12	住んでいる地域の中で自分が社会の一員だと感じていますか
Q13	住んでいる地域の方は、自分にとって大切な存在であると感じますか
Q14	今住んでいる場所に、今後も住み続けたいと思いますか
Q15	あなたは、進学や就職で現在住んでいる地域を離れることがあっても、いつかは同じ地域に戻りたいと思いますか。 …その理由を自由にお書きください
Q16	あなたが、学校以外でよく行く場所（施設）はどこですか。その場所と、行く理由について教えてください
Q17	あなたが、中野市内に「あったらいいな」と思うところはどこですか。その場所と理由について教えてください
Q18	最後の質問です。あなたが中野市以外外に住む親戚に中野市ってどんなところ？と聞かれたらどのように説明しますか。

（３） 愛着と地元に戻りたい気持ちの関連性

アンケート結果をもとに、まず、本研究の基となっている「愛着が高いことは、本市の人口減少を抑えることができるか」について検証を行った。

対象者は、中野市在住者とし、内容については、Q1「中野市のことをどう思うか」の結果と、Q15「あなたは、進学や就職で現在住んでいる地域を離れることがあっても、いつかは同じ地域に戻りたいと思いますか」の結果をクロス集計した。（図表4-1）

なお、Q15の「現在住んでいる地域」が中野市のことを示す必要があることから、中野市在住者の261人に対象を絞って集計を行った。

結果については、中野市のことを好きと答えた方ほど、将来中野市に戻ってきたい気持ち強い傾向があることが分かった。

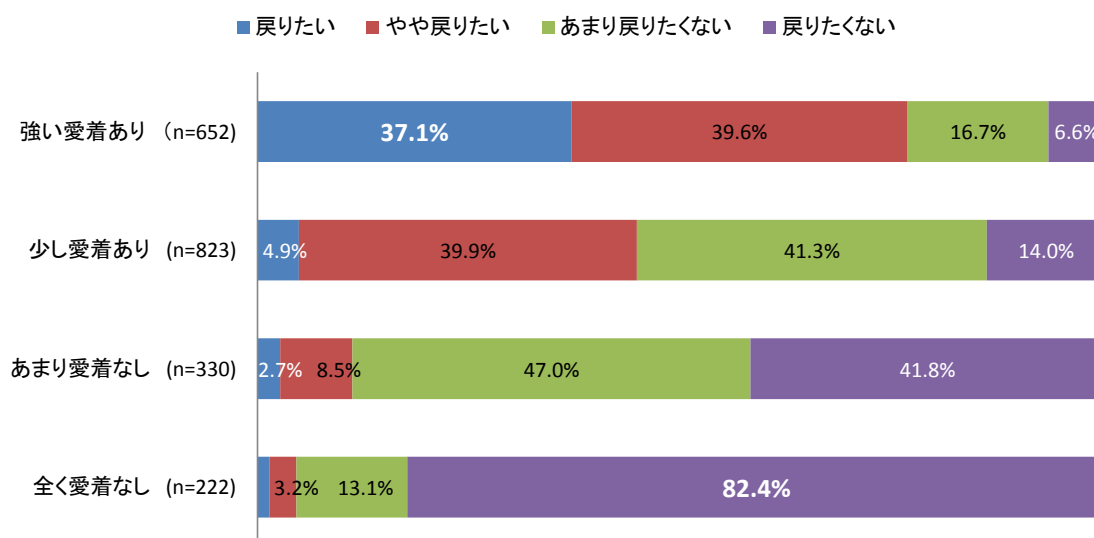
図表 4-1 「愛着」と「地元に戻りたい気持ち」の関連性

	すごく嫌い (n=4)	嫌い (n=5)	少し嫌い (n=5)	少し好き (n=78)	好き (n=135)	すごく好き (n=34)
すごく思う	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	4.4%	47.1%
思う	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	39.3%	29.4%
少し思う	0.0%	0.0%	0.0%	35.9%	34.8%	11.8%
あまり思わない	25.0%	40.0%	40.0%	34.6%	16.3%	0.0%
思わない	0.0%	40.0%	20.0%	7.7%	3.7%	2.9%
全く思わない	50.0%	20.0%	20.0%	2.6%	0.7%	5.9%
未記入	25.0%	0.0%	20.0%	2.6%	0.7%	2.9%

資料：中野市（2019年）「高校生の中野市に対する意識アンケート」を基に作成

また、同様の調査については、労働政策研究・研修機構が平成27年度に実施しており、出身市町村へのUターンの希望について、25～39歳の方を対象にアンケート調査を行っている。（図表4-2）

図表 4-2 「愛着」に応じた「出身市町村へのUターン希望」について



出典：独立行政法人労働政策研究・研修機構（2016年）「地域雇用の現状と課題」

この結果から、強い愛着があれば地元に戻りたい気持ちも大きくなるが、地元への愛着が無ければUターンの気持ちすらも発生しないということが分かる。

そのため、本研究の基礎となっている「愛着が高いことは、将来、中野市にUターンで戻ってくることに」につながる可能性が高いと考えることができた。

(4) アンケートの結果から見えること

愛着がUターンにつながる可能性が高いことが分かったため、愛着を高めるためにはどのようなことが必要であるか、アンケートの結果から特徴を調査した。(図表4-3、4-4)

その結果、Q3「大きな山や建造物など、地域の人が皆知っている中野市のシンボルがあると思いますか」の質問に対し、シンボルについて詳しい人ほど、本市が好きである傾向となった。

また、Q8「毎年、中野市で行われるイベントを楽しみにしていますか」の質問に対し、どのようなイベントが行われているか知っている人ほど、本市が好きである傾向にあることが分かった。

図表 4-3 「高校生アンケート結果 (Q3 : 大きな山や建造物など、地域の人が皆知っている中野市のシンボルがあると思いますか)」

	すごく嫌い (n=4)	嫌い (n=5)	少し嫌い (n=5)	少し好き (n=78)	好き (n=135)	すごく好き (n=34)
すごく思う	25.0%	0.0%	0.0%	1.3%	3.7%	32.4%
思う	0%	40.0%	0%	19.2%	31.1%	29.4%
少し思う	0.0%	0.0%	20.0%	20.5%	20.0%	2.9%
あまり思わない	25.0%	0.0%	40.0%	34.6%	38.5%	14.7%
思わない	0.0%	20.0%	0.0%	16.7%	5.9%	5.9%
全く思わない	50.0%	40.0%	40.0%	5.1%	0.7%	11.8%
未記入	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	2.9%

図表 4-4 「高校生アンケート結果（Q8：毎年、中野市で行われるイベントを楽しみにしていますか）」

	すごく嫌い (n= 4)	嫌い (n= 5)	少し嫌い (n= 5)	少し好き (n=78)	好き (n=135)	すごく好き (n=34)
すごく思う	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	11.9%	41.2%
思う	0.0%	0.0%	0.0%	17.9%	45.2%	23.5%
少し思う	0.0%	0.0%	20.0%	34.6%	26.7%	5.9%
あまり思わない	25.0%	0.0%	60.0%	24.4%	12.6%	11.8%
思わない	0.0%	40.0%	0.0%	6.4%	3.0%	5.9%
全く思わない	50.0%	60.0%	20.0%	6.4%	0.0%	5.9%
未記入	25.0%	0.0%	0.0%	5.1%	1.0%	5.9%

資料：中野市（2019年）「高校生の中野市に対する意識アンケート」において市内生徒のデータを基に作成

これらの結果から、愛着が高い人は中野市に詳しい人であるということが分かり、愛着が高いから本市に詳しいのではなく、「中野市に詳しくなってもらえるアクション」を起こすことができれば、「相対的に、本市のことを今よりももっと、好きになってもらえる」可能性があるのではないかと考えるようになった。

第5章 若者の中野市に対する愛着促進に向けて

第1節 中野西高校の生徒との取り組み

(1) ワークショップの実施

前章のアンケート結果から、「中野市への愛着が高い人」は、「中野市に詳しい人」ということが分かり、中野市に詳しくなってもらえるようなアクションを起こすことができれば、相対的に本市に対する愛着が高められるのではないかと考え、中野西高校の生徒の協力を得て以下の内容でワークショップを開催した。

日 時	2020年1月30日 14:00～16:00
対 象	中野西高等学校1年生（15名） 内訳：市内在住4名、市外在住11名
ねらい	(1) 9月に実施した高校生アンケートから、「市内の名所を知っている人ほど地域に愛着がある」傾向であったことから、高校生にも市内の名所について知り、周りの友人に情報を発信できるようになってもらうことを目的とする。 (2) 高校生が中野市に対して愛着を持つため、生徒一人一人が考える、中野市のホットスポット ³ を意見として発言していただき、注目すべき場所の洗い出しを行う。 (3) 各自が持ち寄ったホットスポットについて、グループごとにその理由を含めて確認し合い、おすすめの市内巡りツアーを提案する。その結果、市内名所の共有を図ることで愛着の向上を図るとともに、高校生目線のホットスポットの把握にもつなげる。
内 容	・グループごとに分かれて自己紹介 ・ホットスポットの意見出し&ツアーの検討 ・具体策をまとめ、模造紙にイベント案を記入 ・イベント案について発表 ※ワークショップ後、高校生に対しアンケートを実施

内容は、高校生が今中野市で気になる「ホットスポット」を自主的に見つけてもらう機会を計画した。

具体的には、事前にワークシートで市内の気になる場所を調べてもらい、当日は5人ずつ3つのグループに分かれ、①ホットスポットの意見出し②意見を踏まえたモデルコースの作成③作成したコースの発表という構成で実施した。

³ 流行の店や最新の施設など、注目されている場所。

写真5-1 「ワークショップの様子」



(2) モデルコースの紹介

ワークショップでは、多くのアイデアが出されたが、以下にワークショップ内で発表されたモデルコースを紹介したい。

名 称	初夏の恋愛成就ツアー
ターゲット	20代の恋人のいない男女をターゲットにした市内恋愛ツアー
コース内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バラが満開の季節に一本木公園でバラソフトを食べながらバラを満喫したあと、3rdカフェというオシャレなカフェに移動し、お茶や軽食を楽しみながらゆったりした時間を過ごしていただく。 ・その後、東山公園の日本土人形資料館で土人形の絵付け体験を楽しみ、メインに据えた「巡り逢いの丘」に移動する。 ・巡り逢いの丘には最愛の人と巡り合えるという、ウサギの形をした大きな石があり、男女で来た方は、そこで 恋愛を成就していただき、相手がいない方は、良い人に巡り合えるようにと、ウサギの巨石に願いを込めていただく。 ・また、東山公園は、夕日がとてもきれいな所なので、夕暮れ時の巡り逢いの丘がおススメ。 ・最後に、レストラン「マッシュルーム」で食事をしていただく。

写真5-2 「モデルコース発表の様子」



(3) ワークショップの成果

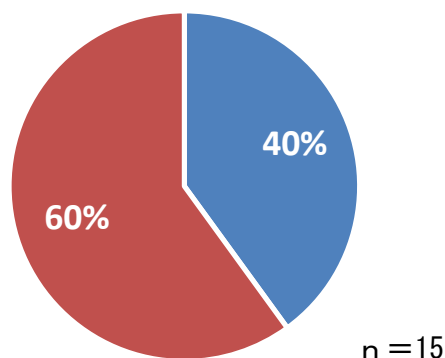
ワークショップを終えた後、アンケートを実施した。(図表5-3)

その結果、今回のワークショップを通して、中野市に対する気持ちに変化があったか、という質問に対し、全員が「好きになった」「少し好きになった」と回答する結果を得た。

また、中野市内についてよく知らない生徒もいる中で、事前学習及びワークショップを通じて中野市について詳しい生徒からの意見に耳を傾け、中野市について新発見の場にも繋がったと答える生徒もいた。

図表 5-1 「ワークショップ後のアンケート結果」について

■ 好きになった ■ 少し好きになった ■ 変わらない
■ 少し嫌いになった ■ 嫌いになった



資料：中野市（2020）「ワークショップアンケート」のデータを基に作成

以上のことから、自主的に中野市について調べ、情報を得ることで少なからず興味や愛着が向上するということが分かった。

また、全校生徒に対するアンケートや今回のワークショップの中で「中野市にあったらいいなと思うところ」として「ショッピングモール、カフェ」のほか、電車の待ち時間や暇な時間に「高校生が集まりやすいところ」を求める声が多く、高校生にとって気軽に集まることができる場所がないことが分かった。

そのため、愛着を継続して高めていくためには、このような問題も同時に解消していくことが大切ではないかと考えた。

第2節 先進自治体の取り組み 福井県鯖江市～鯖江市役所JK課～

全国には、高校生に焦点をあてた事業を行っているところがあるが、その中でも注目されている「鯖江市役所JK課」の取り組みについて紹介していく。

福井県鯖江市は、日本全国の地方で叫ばれている「少子化」と「若者の定着」についての課題を持っていた。特に、女性の帰県率が10年前に比べ半減し、鯖江市の人口も、20歳前の年代が大きく減っていた。

そこで、人口減少の課題を克服し、持続可能な地域を作るためには若者、特に若い女性が地域に残ることができ、福井県外に転出したとしても、その後帰郷することができる環境整備が必要であると考え、始めた取り組みが「鯖江市役所JK課」である。

事業内容については、地域への無関心層だと考えられていた普通的女子高校生たちが自ら企画し、地域活動を楽しめる居場所をつくり、大人を巻き込みながら地域活動を実

践している。

メンバーは全て鯖江市内の女子高校生であり、市役所の職員は裏方として、女子高校生をサポートする。活動内容は、図書館の空席状況確認アプリの開発や、オリジナルスイーツの開発・販売清掃イベントなど、多くの活動を大人や地域を巻き込み活動を行っている。

地域を巻き込みながら、まちづくりを推進した結果、40-50代を中心にした女性たちが「鯖江市OC課（おばちゃん課）」を立ち上げ、市内の公共施設の提案や、婚活イベントを実施するなど、市民の間に「私たちの提案でまちが変わる」という機運が高まるようになった。

また、鯖江市役所JK課の卒業生たちも経験を活かし、地域活性化に貢献しようと「鯖江市JKOC課」を立ち上げ、大人も巻き込み、地域全体でまちづくりを積極的に推進している。

現在、福井県内の高校3年生の4割が県外へ転出すると言われているが、このJKプロジェクトを通じ、現時点でもJK課卒業生34名のうち26名が県内での進学・就職を選択し、若者の地域定着にも貢献している。

以上のことから、愛着向上に対してアクションを起こすことは、若者の地域定着に期待ができると考えられる。

写真5-3 「鯖江市役所JK課（2019）委嘱状交付式の様子」



出典：鯖江市ホームページ

第6章 おわりに

第1節 若者が地域に愛着を持つための具体的事業提案

これまでの研究や中野西高校で行ったアンケートで、地域への愛着が高い人ほどUターン希望が高まるという結果が得られ、愛着とUターン希望には関連性があることが分かった。

また、中野西高校で実施したワークショップ後のアンケートでも、ワークショップの前後で中野市を好きになったという結果が得られ、地域に興味を持つこと、詳しくなることで地域を好きになり、愛着を醸成することにつながるといえる。

さらに、鯖江市のJK課の取組など先進地の例を見ても、若者が主体的に地域とかかわり行動することで、地域への愛着は着実に高まり、地域での定着につながっているデータが出ている。

そこで、若者が更に中野市を好きになる取組として、2つの事業提案をしたい。

(1) 高校生による観光パンフレットの制作

観光パンフレットの制作は、市の観光部署（営業推進課）や観光協会と連携し、高校生の目線で新たな観光スポットや既存のスポットの新たな角度からの楽しみ方の提案のほか、パンフレットのデザインも手掛けてもらうなど、高校生や大学生など若者が手に取ってみたいくなる観光パンフレットを期待したい。

さらに、高校生たちが自ら中野市の魅力を探し発見することにより、地域への興味が増すことで愛着が醸成されることが期待できる。

また、インバウンドを推進するため、英語版のパンフレットの作成も併せて提案したい。高校生の英語学習にもつながると考える。

図表 6-1 観光パンフレットイメージ



(2) フリースペースの有効活用 ～保健センターのフリースペースを高校生の居場所に～

フリースペースの有効活用については、高校生アンケートで「あったらいいなと思うところ」の回答で「ショッピングモール」、「カフェ」のほか、「気軽に集まれる場所」、「遊べる場所」という回答が多くあり、高校生が電車の待ち時間や空いている時間に、気軽に集まれる場所が欲しいことが分かった。

一方、高校生が通学で利用する信州中野駅前の、市の施設である保健センター内にフリースペースがあるが、利用が少なく、施設の有効利用が課題となっている。

写真 6-1 中野保健センター



そこで、そのフリースペースを、学校や世代間の垣根を超えた市民の交流の拠点として活用し、その拠点づくりを高校生がプロデュースすることを提案する。

高校生自身が学校帰りに立ち寄りたくなるような空間、情報交換ができる空間など「居心地のいい場所」を自分たちで考え、内装や設備についても自分たちの手で作ることで、居場所に対する愛着も湧き、交流の輪も広がっていくと考える。

写真6-2 高校生の居場所 イメージ



出典：(左) 石巻市「高校生カフェ」、(右) 武蔵野市「居場所カフェ」

この居場所を利用し、高校生のダンスの発表など、ちょっとしたイベントを開催することができれば、高校生だけでなく大学生や若者へと広がりを見せ、市民へ浸透していくことが期待でき、公共施設の有効活用にもつながると考える。

(3) おまけ～市外からの通学者を将来の市民にしよう～

中野西高校生に行ったアンケート結果から、回答を得た549人の約52%にあたる284人については市外から通学していることが分かった。(図表6-4)

これは、高校の存在が周辺自治体から人を呼び込み、若者の交流を生み出していると考えられることができる。

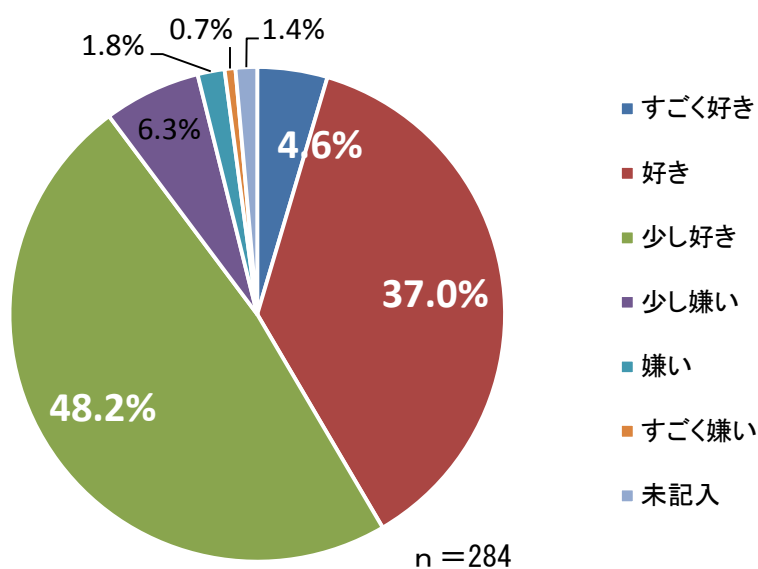
図表 6-2 「市外から中野西高等学校に通う生徒数」について



資料：中野市（2019）「高校生の中野市に対する意識アンケート」のデータを基に作成

この市外から通う生徒に対し、中野市に対してどのように感じているか尋ねたところ、「すごく好き」～「少し好き」に該当する生徒が 89.8%おり、比較的好感を持っているということが分かった。（図表 6-5）

図表 6-3 「市外から通う生徒が中野市をどのように感じているか」について



資料：中野市（2019）「高校生の中野市に対する意識アンケート」のデータを基に作成

先述の2つの施策提案は、市外の学生が中野市の文化・観光に触れる機会を作り出し、市内在住の生徒だけでなく、市外在住の生徒に対しても、中野市を好きになり、将来の転入増加につながることを期待できると考えられる。

第2節 まとめ

情報通信技術が発達した現在の社会では、誰もが必要な情報を手に入れることができ、そうした面での都市と地方の格差はなくなっている。

しかし、若者は都会に憧れ、東京をはじめとする大都市へ流れていってしまう。

その一方、都会で暮らしたからこそ、地方（田舎）の良さを認識し、戻ってくる若者も多くいる。

地方では、高校を卒業後、多くの若者が進学のため市外・県外へ出ていく。彼らが就職や将来を考えると、「中野市に戻って生活したい」と思い、「自分たちで中野市を元気にしよう」という若者が一人でも多くなるような取組が必要である。

「故郷の情景」を思い描くとき、それは、子どものころの体験や風景などの思い出が浮かんでくるのではないだろうか。学生時代の体験は「故郷の思い出」となり、進学などで一旦中野市を離れても、ずっと記憶に残り、それがふるさとへの愛着となり、再び地元へ戻ってくる原動力になるはずである。

東山公園から望む市街地、前方は北信五岳



【資料】

1. 高校生の中野市に対する意識アンケート調査

- ① アンケート調査表
- ② アンケート結果

2. ワークショップアンケート調査

- ① アンケート調査表
- ② アンケート結果

高校生の中野市に対する意識アンケート調査

① アンケート調査表

高校生の中野市に対する意識アンケート

アンケートの目的

■中野市では、地域への「意識」をテーマに研究を行っています。
 ■市内の高校に通う皆さんが、中野市に対してどのようなイメージを持っているか調査し、より魅力のある中野市を作り上げていきたいと考えていますので、アンケートにご協力をお願いします。
 ■アンケートの結果を元に、これからの中野市を存り上げていきたいと考えていますので、皆さんが直接から感じていることを、ぜひ正直に記入してください。

記入に当たってのお願い

■ご回答は、該当する番号に○印をつけてください。
 ■記入式の説明については、ご意見をご記入ください。
 ■調査から10分程度で回答できるアンケートです。

Q1 あなたの性別をお聞かせください。

A. 男性 女性

Q2 あなたの学年をお聞かせください。

A. 1年生 2年生 3年生

Q3 あなたの居住地をお聞かせください。

A. 中野市内 市外（市町村名）
 ①市の番号、下記のお住まいの中学校区に○印をつけてください。
 ①-1 南宮 ② 中野平 ③ 南社 ④ 東原

Q4 中野市のことなどどう思いますか。

A. 1) すごく好き 2) 好き 3) 少し好き 4) 少し嫌い 5) 嫌い 6) すごく嫌い

Q5 中野市の風景みや自然は、綺麗だと感じますか。

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

Q6 大きな山や緑道など、他県の人が皆知っている中野市のシンボルがあると感じますか
 ※下記が「思う」について注。「思いつく」「思いつかない」と読み替えてお考えいただいても大丈夫です。

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 全く思わない

…思うor思いつく理由：【シンボルの名称について】
 シンボルの名称に
 ついてもお書きください。

Q7 中野市の医療施設は、充実していると感じますか

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

Q8 中野市の治安は良いと感じますか

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

Q9 中野市の名産物は、他の地域の人に勧められると感じますか

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

…名産物の名称に
 ついてもお書きください。【名産物の名称について】

Q10 観光、住んでいる地域で行われるお祭りを楽しみにしていますか

A. 1) すごくいい 2) している 3) 少ししている 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

（※マークは複数可です）

Q11 観光、中野市で行われるイベントも楽しんでいますか

A. 1) すごくいい 2) している 3) 少ししている 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

…イベントの名称に
 ついてもお書きください。【該当するイベントに○印を記入ください（複数回答可）】
 ①中野のまち ②なかのバラまつり ③お祭り ④レインボウ祭り
 ⑤緑のなかの道（緑のウォーク） ⑥緑のなかの音楽祭 ⑦おこしエクス
 ⑧中野えびす祭 ⑨その他

Q12 日頃、中野市の人（同じ高校の友達以外）と交流を持つことが多いと感じますか

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

Q13 中野市の人とは親切かと思いませんか

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

Q14 住んでいる地域は、自分にとって住みよい場所であると感じますか

A. 1) すごく感じる 2) 感じる 3) 少し感じる 4) 感じない 5) 感じない 6) 全く感じない

Q15 住んでいる地域の中で自分が社会の一員と感じていますか

A. 1) すごく感じる 2) 感じる 3) 少し感じる 4) 感じない 5) 感じない 6) 全く感じない

Q16 住んでいる地域の人とは、自分にとって大切な存在であると感じますか

A. 1) すごく感じる 2) 感じる 3) 少し感じる 4) 感じない 5) 感じない 6) 全く感じない

Q17 今住んでいる場所に、今後も住み続けたいと感じますか

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

Q18 あなたは、通学や就職で
 現在住んでいる地域を離れることがあっても、いつかは同じ地域に戻りたいと感じますか。

A. 1) すごく思う 2) 思う 3) 少し思う 4) 思わない 5) 思わない 6) 全く思わない

…その理由を
 自由にお書き
 ください。

Q19 あなたが、学校以外でよく行く場所（施設）はどこですか
 その場所に、行く理由について教えてください

A.（自由にお書きください。）

Q20 あなたが、中野市内に「あったらいいな」と思うところはどこですか
 その場所と理由について教えてください

A.（自由にお書きください。）

Q21 最後の質問です。あなたが中野市以外に住む候補に中野市ってどんなところ？
 と聞かれたらどのように説明しますか。

A.（自由にお書きください。）

※以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

②アンケートの集計結果

基本データ								
問1 (性別)		問2 (学年)		問3 (住まい)		3-1(問3補足) 地域名等		
性別	人数	学年	人数	住まい	人数	地域	人数	
男性	246	1年生	184	市内	261	市内	(南宮中)	131
女性	299	2年生	167	市外	284		(中野平中)	57
未記入	4	3年生	195	未記入	4		(高社中)	33
		未記入	3				(豊田中)	11
計	549	計	549	計	549	市外	須坂市	123
							小布施町	49
							山ノ内町	38
							長野市	23
							高山村	17
							飯山市	6
							木島平村	6
							飯綱町	2
							信濃町	1
							千曲市	1
						未記入	51	
						計	549	

中野市に対する質問(6拓制)								
問4 (中野市を好き か)		問5 (街並み)		問6 (中野市シンボ ル)		6-1(問6補足) シンボルの名称(自由回答・複数可)		
No.	人数	No.	人数	No.	人数	順位	名称	人数
1	48	1	60	1	30	1	一本木公園	58
2	240	2	217	2	112	2	中山晋平記念館	14
3	215	3	195	3	88	3	高社山	10
4	23	4	55	4	209	3	バラ	10

5	10	5	11	5	65	5	イオン	7
6	6	6	7	6	34	6	中野市役所	6
未記入	7	未記入	4	未記入	11	7	中山晋平先生	4
計	549	計	549	計	549	8	キノコ	3
						8	中野西高校	3
						8	東山	3
						8	久石譲	3
						12	あげまんじゅう	2
						12	信州中野駅	2
						12	高梨館跡公園	2
						12	田んぼ	2
						12	山	2
						17	アンジェラタワー	1
						17	石沢家	1
						17	エノキタケ	1
						17	キノコ工場	1
						17	果物	1
						17	桜	1
						17	さらさホーム北信	1
						17	シャクヤク	1
						17	シヨンシヨン祭り	1
						17	チョウゲンボウ	1
						17	土びな	1
						17	中野陣屋県庁記念館	1
						17	バラまつり	1
						17	ブドウ	1
						17	北信五岳	1
						17	ローズタワー	1
							計	147
							なし	416

中野市に対する質問(6択制)								
問7 (医療施設)		問8 (治安)		問9 (名産物)		9-1(問9の補足) 名産物の名称(自由回答・複数可)		
No.	人数	No.	人数	No.	人数	順位	名称	人数
1	50	1	60	1	70	1	キノコ	93
2	246	2	247	2	192	2	リンゴ	74
3	174	3	145	3	142	3	エノキタケ	68
4	61	4	64	4	101	4	ブドウ	52
5	6	5	11	5	24	5	おやき	13
6	4	6	17	6	11	6	果物	12
未記入	8	未記入	5	未記入	9	7	そば	6
計	549	計	549	計	549	8	バラ	5
						8	ぼたんこしょう	5
						10	エノキ氷	4
						10	モモ	4
						12	野菜	3
						13	サクランボ	2
						13	シャインマスカット	2
						13	土人形	2
						16	あげまんじゅう	1
						16	果樹	1
						16	巨峰	1
						16	シナノゴールド	1
						16	シメジ	1
						16	シャクヤク	1
						16	大根	1
						16	ナガノパープル	1
						16	野沢菜	1
						16	バラジャム	1
						16	レタス	1
						計		356
						なし		310

自分の住んでいる地域に対する質問(6拓制)						
問10 (お祭り)		問11 (イベント)		11-1(問11の補足) イベントの名称(複数選択可)		
No.	人数	No.	人数	名称		人数
1	68	1	47	①	中野ひな市	45
2	178	2	134	②	なかのバラまつり	79
3	123	3	145	③	祇園祭	14
4	109	4	114	④	シヨンシヨン祭り	247
5	33	5	49	⑤	信州なかの巡りEYE ウォーク	4
6	31	6	41	⑥	信州なかの音楽祭	11
未記入	7	未記入	19	⑦	おごっそフェア	33
計	549	計	549	⑧	中野えびす講	83
				⑨	その他	3
				その他 内訳	信州 soul	1
					ハロウィン	1
					パピフェス	1

自分の住んでいる地域に対する質問(6拓制)							
問12 (交流)		問13 (親切)		問14 (住みよい)		問15 (一員)	
No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数
1	50	1	74	1	99	1	35
2	76	2	212	2	254	2	114
3	86	3	184	3	121	3	197
4	161	4	48	4	49	4	146
5	90	5	13	5	7	5	28
6	72	6	6	6	6	6	17
未記入	14	未記入	12	未記入	13	未記入	12
計	549	計	549	計	549	計	549

自分の住んでいる地域に対する質問(6拓制)					
問16 (存在)		問17 (今後)		問18 (戻るか)	
No.	人数	No.	人数	No.	人数
1	69	1	42	1	48
2	198	2	144	2	153
3	155	3	174	3	172
4	83	4	123	4	113
5	19	5	34	5	31
6	13	6	19	6	18
未記入	12	未記入	13	未記入	14
計	549	計	549	計	549

問19(行く所・自由回答)								
順位	名称	人数	順位	名称	人数	順位	名称	人数
1	原信	74	15	長野市	4	21	神社	1
2	図書館	56	16	カフェ	3	21	須坂市	1
3	イオン	50	16	多目的サッカー場	3	21	接骨院	1
4	駅	31	18	市民会館	2	21	豊田公民館	1
5	スーパー	27	18	塾	2	21	長野駅周辺	1
6	飲食店	18	18	親族の家	2	21	中野西高校	1
7	カラオケ	16	21	アメリカンドラック	1	21	畑	1
8	本屋	14	21	映画館	1	21	東山	1
9	テニスコート	13	21	お店	1	21	病院	1
10	コンビニ	11	21	仮設トイレ	1	21	ぽんぽこ温泉	1
11	自宅	8	21	ゲームセンター	1	21	町図書テラス	1
12	公園	7	21	コミュニティーセンター	1	21	ユニクロ	1
13	体育館	6	21	ジム	1			
13	ダイソー	6	21	商業施設	1			
計								373
なし								235

問20(ほしい所・自由回答)

順位	名称	人数	順位	名称	人数	順位	名称	人数
1	ショッピングモール	49	20	ごみ箱	3	38	カプセルホテル	1
2	映画館	19	20	スポーツショップ	3	38	カラオケ	1
3	コンビニ(学校近く)	18	20	プリクラ	3	38	高校生が 行きやすいお店	1
4	高校生向けの服屋	17	27	JR	2	38	高校の近くに いろんなお店	1
5	カフェ	15	27	運動施設	2	38	ジャニーズショップ	1
5	スタバ	15	27	大きな公園	2	38	スーパー	1
7	高校生が遊べる場所	12	27	大きなホール	2	38	スキー場	1
8	高校生が気軽に 集まれる場所	11	27	お店	2	38	全て歩道をつ つけてほしい	1
9	コストコ	8	27	娯楽施設	2	38	テニスコート	1
9	ディズニー	8	27	時計	2	38	トイレ	1
9	勉強スペース	8	27	パルクール施設	2	38	東京タワー	1
12	タピオカ屋	7	27	マンガ喫茶	2	38	ドンキ	1
12	ミスド	7	27	ライブハウス	2	38	バッティング センター	1
14	飲食店	6	27	ラウンドワン	2	38	パルコ	1
14	テーマパーク	6	38	EXILE TRIBE STATION	1	38	東山に見晴台	1
16	おしゃれなお店	5	38	大きな TSUTAYA	1	38	ピザ屋	1
17	サイゼリア	4	38	アニメイト	1	38	病院(若者用の)	1
17	バスケットコート	4	38	イベントステージの ある広場	1	38	ファミレス	1
17	ボウリング場	4	38	ヴィレばん	1	38	フリースペース	1
20	USJ	3	38	エバーマツがある体育館	1	38	マクドナルド	1
20	アミューズメントパーク	3	38	大手ホームセンター	1	38	マンション	1
20	駅前にお店	3	38	音楽ホール	1	38	リハビリスペース	1
21	ゲームセンター	3	38	温泉	1			
計								297
なし								300

ワークショップアンケート調査

①アンケート調査表

ワークショップアンケート

ワークショップはどうでしたか？

次の質問にお答えください（番号に○をつけてください）。

- 1 あなたについて伺います。あてはまる番号に○をしてください。

性別	①. 男性	②. 女性	
学年	①. 1年生	②. 2年生	③. 3年生
住まい	①. 中野市内	②. 中野市外	

- 2 今日のワークショップを行って中野市のことをどう思うようになりましたか？

- ① 好きになった
- ② 少し好きになった
- ③ 変わらない
- ④ 少し嫌いになった
- ⑤ 嫌いになった

- 3 グループ発表をして（or 聞いて）市内の気になるスポットはありましたか？

- ① あった
… その場所と理由は？

→ [・場所：
・理由：

- ② なかった
… その理由は？

[

- 4 あなたにとって「市内にほしい場所とその理由」があれば教えてください。
（何を書いてもOKです）

◇◇ ありがとうございました！ ◇◇

②アンケートの集計結果

◎対象者：1年生 15人 （男7人・女8人 市内4人・市外11人）

◎問2「今日のワークショップを行って中野市のことをどう思うようになりましたか」

- ①好きになった … 6人
- ②少し好きになった … 9人

◎問3「グループ発表をして市内の気になるスポットはありましたか」

①あった（内容は以下のとおり）

- ・志賀高原…あまり行ったことがないから（市外）
- ・そうげんラーメン…ご当地料理で知らなかったの、食べてみたい（市外）
…おおぎやラーメンみたいなチェーン店しかいかないから（市外）
- ・オランチェ…名前が気になった（市外）
- ・3rdカフェ、マッシュルーム、オランチェ…おいしそう、おしゃれ（市外）
- ・谷巖寺…四季の話を聞いて（市外）
- ・東山公園…景色がいいと聞いたから（市外）
- ・ご飯や、オランチェ…中野には意外とお店があるんだな、と思ったから（市外）
- ・東山公園…巡り逢いの岡の存在を知らなかったから（市外）
- ・巡り逢いの丘…誰か実行してほしい（市内）

②なかった（内容は以下のとおり）

- ・知っていたから、知っているところ、行ったことのあるところだったから
(2名市内)

◎問4「あなたにとって市内にほしい場所とその理由があれば教えてください」

- ・ライブハウス
- ・ステージ
- ・バナナ屋
- ・チーズ屋
- ・ショッピングモール
- ・スタバ
- ・お手頃のカフェ
- ・食堂
- ・Wi-Fiがあるところならどこでも
- ・気軽に利用できるカフェ
- ・公民館

- ・映画館
- ・電車の待ち時間を潰せるスペース（Wi-Fi 完備）（市外×2）
- ・ストレス発散できる場所
- ・ショッピングモール（理由：ふらっと寄れる場所がほしいから）（市外）
- ・Free Wi-Fi 付きのカフェ（理由：中野市にはカフェが少ないから）（市内）
- ・多目的施設（理由：多世代間交流で地域理解の向上、こども、学生、高齢者に優しく）（市外）